事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　5年　11月　20日

公表：令和　5年　11月　30日

事業所名　児童発達支援　第2ももっ子

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		訓練指導室は約32.6㎡あります。国の設置基準である児童一人当たり3㎡以上、集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間で児童発達支援事業であれば30㎡以上の広さという基準以上の広さを用意しています
	2	職員の配置数は適切である	8		児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	入口など段差がありますが、利用されるお子さんにとって活動が分かりやすいよう座って行う場所と運動を行う場所に分かれた空間にしてあります。隣接幼稚園と同じ物を置くことで利用児にとって分かりやすいものとなるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付け、引き続き感染症対策も含めて徹底していきます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		PDCAサイクルを心がけ、事前・事後ミーティングを行って職員間の情報共有に努めています
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		事業発達支援事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、以降を把握し改善に務めております
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		討議結果を法人内のホームページにて公表しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	現在は保護者と事業所内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としてまいります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		大学の教授や外部の研修への参加、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		利用に際して保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		個別支援計画に沿った支援を心がけています
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		課題や活動の目的や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めています
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		毎週活動内容を変え、幼稚園の活動内容をお聞きし予習を含めた活動が出来るように努めています
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の視点を持ちながら児童発達支援計画の作成に当たっています
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		支援開始前に内容や役割を確認し、支援終了後に必ず振り返りを行い、気づいたことを共有しています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		個人記録に支援内容を記録しています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		概ね6か月に1度、見直しを行っています
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や担当者など適任者を選んで出席します
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1	毎月、関係機関連携会議を行うなど常に連携出来るように努めています
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		利用児の通園している園と隣接しているので、連携した支援を心掛けています

関係機関や保護者との連携	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	協力医療機関とすぐに連絡が取れるようにしています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		保育所等訪問支援、関係機関連携会議を毎月行い情報を共有しています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行っています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		児童発達支援センターへの見学や来て頂き、助言をうけています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8		インクルーシブ教育を行っている隣接の園と交流しています
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	2	オンライン等手段を広げ要請があれば参加する体制はあります
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々のフィードバックの際に子どもの状況や課題について話をする機会を設け、必要に応じて個別に相談の時間も設けています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	2	定期的に保護者個別懇談会を行い保護者支援を行っています
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		新規利用の場合は資料を配布し丁寧に説明し、定期的な保護者懇談会にて説明を行っています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		保護者との面談時に説明を行い、同意を得ています。半年を目安に定期的にモニタリングを行い支援内容を説明し同意を得ています
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	ルーツの会を2回開催し、保護者同士が話せる時間を設けました。今後も計画していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		イベントや毎月のお知らせを配布しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	ことばと共にサインを使用したり、その日に取り組む教材が視覚的に分かりやすくなるよう配置するなど、伝わる方法をお子さんや保護者に合わせるようにしています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	利用前のお子さん向けに事業所紹介を行う説明会をももっ子と一緒に開催いたしました
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行ったり必要に応じて見直しをしていきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		防災頭巾や防犯対策を完備し、避難訓練を行っています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		保護者記入の健康状況票により把握しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。児童の健康上の配慮点や注意点について、職員一人ひとりが意識できるよう定期的な確認と周知を行っていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	食事提供はありませんが、アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしています（小麦粘土など）。必要に応じて服薬、投薬、緊急搬送先などの取り決めを保護者と行います
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	危険な事例があった場合、ヒヤリハット報告書に記載し職員会議を通して職員で共有しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止委員会を設置しマニュアルを作成、職員研修を行っています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		事例はありませんが、身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明するようマニュアルを作成しています

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。